

イチオシ👍

～こだわりのええもん紹介 その1～

長年サッシ業界に携わらせていただいて、たまにこれはほんまええもんやなあと思う商品に出逢います。

某有名メーカーのものは有名だからええもんなんちゃう？
それに比べて有名じゃないこのメーカーのものは信用できるん？？
と思うのは当然のこと。

しかし、決して有名ではないけれど、実際さわって扱ってみて、他とは違うええもんがあります。

今から紹介するのは、自信を持って”ええもん”と言えるんだけど、建築分野の商品って意外と知られていない。

リフォームをする時にこれ知ってるるといいのにと
思う商品です。

せっかくのリフォームなので
少しこだわってみても楽しいかもしれません。

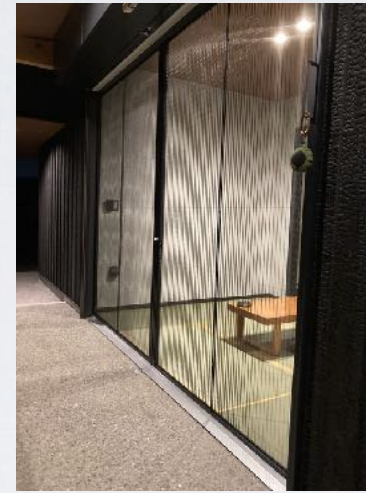
する、しない、に関わらず、ちょっと紹介させて
くださいね。ほんまええもんやから。

メタコ プリーツ収納網戸

株式会社メタコって聞いたことないなあ？ですよね。ホームセンターでも見たことないし業界の人でも知らない人も多いかもしれません。それもそのはず、ヨーロッパなどの海外販売の方が日本国内販売より多い会社なんです。金物の耐久基準とか安全基準は日本よりヨーロッパの方が厳しいって知ってました？その基準をクリアした高品質な網戸を世界で売っている会社なんです。



これは箱根にあるホテルの客室の浴室の窓に設置した網戸。このホテルは全国展開しているインテリアにこだわったラグジュアリーホテル。家電は全てDyson。奈良にあるホテルはあの国立競技場を設計した隈研吾さんの設計です。全室浴室にメタコが採用されています。



三重県の某邸宅に取り付けた網戸。お客様がご自身で取り付けましたもの。少し腕に自信のある方は自分で付けられちゃうほど簡単。こだわりのお家にメタコが採用されました。

プリーツ網戸は壊れやすい？

網に折り目がついていて、スライドさせるとパタパタと片側に折り畳まれていくプリーツ網戸。何年か使うと、網がよれたり、畳んでも網が膨らんだり、何かと壊れやすいのでは？

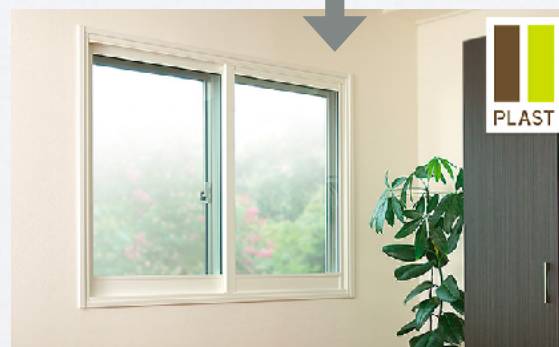
いえいえ、このメタコの網戸は強いんです。

ポリプロピレンという滑らかで汚れのつきにくい素材を使っているので水に強く丈夫。だから、ホテルの浴室に採用されたり、大開口にも使うことができます。幅7.8m 高さ3.0mまで対応できるという強さ。折り目に独自の加工をすることでしっかりと折れてくれるのでピシャッと開き、ピシャッと閉まるのです。



メタコの
ホームページは
こちらから

大信工業 内窓PLAST



内窓メーカーは数あれど。。

夏は室内が暑くてクーラーが効かない！冬は窓ガラスが結露して困る！前の道がうるさくて騒音に悩んでいる。。

などの窓周りのお困りごとの際に一番の解決方法として考えられるのは、今の窓の内側に内窓を付けることです。しかし、LIXIL、YKK、三協アルミ、メーカーがたくさんあって、どの内窓も一緒なんじゃないの？外窓と同じくアルミサッシメーカーが一番最初に思い浮かびますね。しかし、面白いのがこの大信工業の「内窓プラスト」

大信工業とは、国内で初めて内窓を作った会社なのですが、元々、樹脂の気密材を作っている会社なのです。なので、とにかく気密性は抜群。他メーカーの内窓は窓の中央にあるクレセントというカギを回して窓を締め付けて気密性を出すのですが、このプラストはクレセント自体ありません。それだけ気密性が高いということ。北海道での使用率が高いのもうなずけます。

それにより、もっといいことが起こります。防音性がかなりヤバい。

お客様の「高いけど買ってよかった」という満足度が高いのも納得の商品です。



内窓PLASTの
ホームページは
こちらから